資 料 3
R8.11.5
管理栄養士国家試験出題基準
（ガイドライン）改定検討会

令和８年度管理栄養士国家試験出題基準（ガイドライン）改定の方向性及び主な論点（案）

【方向性】

管理栄養士は、近年、個人及び地域における栄養課題が多様化・複雑化する中、多職種連携による対応が多領域で一層求められている。また、管理栄養士は、関連法規等の内容を正しく理解した上で、多職種連携による栄養管理に適切かつ効果的に対応する必要がある。こうした観点から、以下の事項を踏まえた改定を行う。

（総論的検討事項）多職種連携に必要な知識及び技能について
（科目別検討事項）関連法規、制度等の改正への対応等を踏まえた適切かつ効果的な栄養管理について

【主な論点】

上記の方向性で検討を進める場合、各事項についてどのように考えるか。

（総論的検討事項）

- 多職種連携に必要な知識及び技能について
  - 保健医療分野等での多職種連携において、各専門職種に共通して必要となる基礎知識
  - 管理栄養士の活躍領域や業務内容を踏まえた出題問題の範囲の妥当性 等

（科目別検討事項）

- 関連法規、制度等の改正への対応等を踏まえた適切かつ効果的な栄養管理について
  - 関連法規、制度等の改正への対応
  - 上記以外の前回改定後の管理栄養士国家試験（令和５～８年度）を踏まえた対応（各科目の項目表記、科目間の項目調整等）